開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	美容文化論Ⅰ	実務経験のある教員等の授業	○
授業時間	30時間	履修期	1年次
担当教員	三好		
授業目的	1.美容業の使命の一人が、より優れた人間の美の創造、実現にあることをよく認識させ、子の使命の達成のために必要な美的感覚を身に付け、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力を養うこと。 2.美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身に付けるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させること。		
到達目標	美容師国家試験「美容文化論」の合格を目指す。技術だけではなく、分野に縛られることなく幅広い視野を持つ。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	第1章 総論	理容・美容の語義 理容・美容と現代社会 人の第一印象（メラビアンの法則）
第2回		
第3回		
第4回	第2章 日本の美容業の歴史	美容業の発生～江戸時代の美容業～ 近代の美容業～現代の美容業 美容業はどのように発展していったか？ 資料鑑賞
第5回		
第6回		
第7回	第3章 ファッション文化史（日本編）	縄文、弥生、古墳時代 日本列島に人が住み着き、人々はどのような生活を送りどのようなファッションを身に付けていたのか 古代（飛鳥、奈良、平安時代） おしろいの使用が始まる→眉→お歯黒 おしろいと同時にファッションはどう変化していったのか
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		中世（平安末、鎌倉、室町、戦国時代） 眉落とし、お歯黒、独自の風習が発達 近世Ⅰ（戦国末、安土桃山時代） 多種多様な髪型が登場し、身分による細分化がなされる。 小テスト
第12回		
第13回		
第14回	第3章 ファッション文化史（日本編）	近世Ⅱ（江戸時代） 身分による細分化、日本髪の誕生、装飾性に富んだ 髪飾りの発達 際化粧、笹色紅、天井眉 DVD鑑賞
第15回		
第16回		
第17回		
第18回		
第19回	定期試験	前期試験

	授業計画	授業内容
第20回	第3章 ファッション文化史（日本編）	近代（明治、大正、昭和20年まで） 明治維新を迎え、社会風俗にも一大変革がもたらされる せめぎ合う束神と日本髪 パーマネントウェーブの導入と隆盛 新しい化粧法と化粧品の多様化 DVD鑑賞
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		現代Ⅰ（1945～1950年代） 情報通信技術の発達によるファッションの多様化 ファンデーションの誕生 現代Ⅱ（1960～1970年代） 男性のロングヘア、日焼けメイク、ファッション革命となったミニスカート メアリー・クアント、アンドレ・クレージュ、ツイッギー ストリートファッションについて、ファッション雑誌の影響
第25回		
第26回		
第27回		現代Ⅲ（1980～1990年代） ソバージュ、ワンレン・ボディコン アムラー、ガングロ、男性の美に対する関心度 朝シャン、茶髪ブーム、多様化するファッション 日本人デザイナーについて
第28回		
第29回		
第30回		現代Ⅳ（2000年代以降） 髪型ボリュームアップヘア、リアルクローズファッション
第31回		
第32回		
第33回	テスト	後期試験

評価方法	出席状況、試験（小試験、定期試験）を総合的に評価　60点以上で単位認定

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%